

与謝野晶子没後80年

与謝野寛・晶子と 富士山、静岡の文学



富士の嶺に木花咲耶嬢いまし
盛りになりぬ東海の春
晶子

大地よりねぎせるものたしかさを
ひとり信じてもだしたる富士
寛

石井柏平画「伊豆三津における与謝野夫妻像」(個人蔵 日本近代文学館寄託)

2022 (令和4)年

7/16 [土] → 9/4 [日] ※会期中一部表示替えあり

静岡県富士山世界遺産センター2階 企画展示室

開館時間 / (7月・8月) 午前9時～午後6時 (最終入場は午後5時30分)

(9月) 午前9時～午後5時 (最終入場は午後4時30分)

休館日 / 毎月第三火曜日 (会期中の休館日: 7月19日、8月16日)

常設展観覧料 / 一般300円 (15歳未満、70歳以上、学生、障がい者等 無料 (要証明))

団体 (有料観覧者20人以上) ※本企画展は常設展観覧料でご覧いただけます。

主催 / 静岡県富士山世界遺産センター 協力 / 堺市博物館



静岡県富士山世界遺産センター

今から140年ほど前、与謝野晶子(1878-1942)は、現在の大阪府堺市の老舗和菓子店「駿河屋」の三女として生まれました。のちに夫となる与謝野寛(鉄幹)(1873-1935)に短歌の才能を見いだされ、23歳で第一歌集『みだれ髪』を刊行するなど、若くして新時代の歌人としての名声を得た文学者です。

文学的志向を同じくする与謝野夫妻は、終生互いの人生や文学活動に深い影響を与え続け、国の内外を問わず連れ立って多くの旅に出向いています。温泉を愛した二人は、熱海や伊東、一碧湖など伊豆に足しげく通い、山梨県も含めた富士山の周辺にも出かけ、富士山や静岡に関わる多くの短歌や文学作品を残しています。

2022年は晶子没後80年にあたることにちなみ、世界遺産センター初の文学展示として、自筆資料や歌集、関連資料のパネル解説などにより、与謝野夫妻の文学や静岡での旅、富士山に対する思いなどを紹介します。



〔住吉・堺名所並二裏商家内記〕(堺市立中央図書館蔵)



数貼交屏風二曲一双(堺市博物館蔵)



与謝野晶子「編臥して」色紙(清見寺蔵)



『みだれ髪』初版本(堺市博物館蔵)



新編のころの夫妻(日本近代文学館提供)

展示内容

1. 生い立ちから出会い、結婚まで

生涯にわたり文学的な同志として連れ添った二人の出発点を紹介

2. 夫妻の合作—「百首屏風」と「貼交屏風」、「冬柏亭双巻」—

よく似た筆跡で知られる寛と晶子の合作3点を展示

3. 富士山、静岡

道墨を中心に夫妻が詠んだ富士山、そして静岡に関する歌を紹介

4. 晶子の果たしたこと

没後80年にあたり晶子の功績の一端を、記念の品や『新新源氏物語』の自筆原稿(パネル展示)で振り返る



与謝野晶子『新新源氏物語』自筆原稿 堺市博物館蔵(パネル展示)

関連イベント

- 1 特別講演会/7月31日(日)午後2時~午後3時
与謝野晶子が語る恋物語—『新源氏物語』を読む
中村ともえ氏(静岡大学教育学部准教授)
- 2 スライドレクチャー/8月20日(土)午後2時~午後3時
与謝野寛・晶子の生涯と短歌
田代一葉(静岡県富士山世界遺産センター学芸課准教授)
- 3 ギャラリートーク/7月18日(月・祝)、8月28日(日)午後2時~
展示担当者が企画展示室にて展示解説を行います。

※1, 2は事前予約制(定員30名)。センター公式ホームページ内の予約システム、またはお電話にてお申し込み下さい(電話の場合のみ、受付時間9:00~17:00、7月19日は受付不可)。

予約受付期間 1 6月30日(木)~ 7月20日(水) 2 7月20日(水)~ 8月9日(火)



3 直接、企画展示室にお集まり下さい。(要観覧券)



静岡県富士山世界遺産センター

【アクセス】

電車/JR身延線富士宮駅から徒歩8分
車/新東名高速道路新富士ICから約10分・東名高速道路富士ICから約15分

〒418-0067 静岡県富士宮市宮町5-12

TEL 0544-21-3776

FAX 0544-23-6800

WEB <https://mtfuji-whc.jp>



撮影: 早井広行

